

## 電気安全九州委員会「第68回委員会」を開催しました

電気安全九州委員会は、令和8年5月14日に福岡市内で第68回委員会を開催しました。「令和7年度事業及び収支決算報告」を行うとともに、「令和8年度事業計画、収支予算（案）」の2議案を上程・審議し、全て原案どおり承認されました。

冒頭で挨拶に立った久富木委員長は、「感電等死亡事故は昨年度に引続き0件、負傷件数が令和7年度は6件となっており、これは電気関係従業員皆さま方のご尽力の賜物ではあるが、我々委員会の諸活動も微力ながら貢献できたもの」と思料、「但し、死傷事故の内容では、『予定外作業を行うことが、作業者に連絡されていなかった』など、工事関係者間のコミュニケーション不足による事故が多数見られる。電気事故を撲滅していくためには、常日頃から直接対話等で意思疎通を図り、関係者間で安全対策を十分打合せたうえで工事を行うことが何よりも重要」と指摘。『安全は全てに優先する』という考えのもと、委員の皆さまのご支援を頂き、電気保安の確保と電気事故の未然防止を図り、引続き感電死亡事故ゼロを目指していきたい」との考えを示しました。



電気安全九州委員会  
久富木委員長

引き続き、委員会顧問代理の菊田宗徳九州産業保安監督部産業保安監督管理官が挨拶し、電気保安の確保、経済産業行政の推進への理解と協力に対する感謝の意を示した上で、電気は、社会・経済活動の基盤であり、その安全かつ安定的な利用の確保は、地域社会の持続的発展に不可欠。「電気保安を取り巻く環境は大きく変化しており、従来以上に多様なリスクへの対応が求められている。また、発災時に迅速かつ的確に対応できる体制の確保が一層重要」と指摘。「公共の安全確保や電気事故の未然防止を最優先に、関係機関との連携を一層強化しながら、事故情報の分析や再発防止策の着実な展開、さらには保安力の底上げに向けた取組を推進していく所存である」と述べるとともに、「関係機関が連携を図り、電気の保安を推進する皆様の理解と協力をお願いする」との考えを示しました。



九州産業保安監督部  
菊田産業保安  
監督管理官

なお、令和8年度の具体的な事業については、

- (1) 電気安全に関する意識の啓発を図るため、「電気使用安全月間」を中心に電気関係業界と協力し、様々なツールを活用した情報発信を充実させ、積極的なPR活動を実施する。
- (2) 関係団体からの推薦をもとに審査・調査を行い、電気保安功労者を表彰する。
- (3) 電気事故防止及び、安全確保を図るとともに、電気技術者の技術向上を推進するため、各種講習会を開催または協賛する。

を柱として計画しています。



委員会の様子